

令和  
7年度

# 事業所における自己評価総括表(公表)

香川県中讃地区 COMPASS 児童発達支援センター



○事業所名	香川県中讃地区コンパス児童発達支援センター			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	87	(回答者数)	63
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～	2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	22
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月31日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員数が多く、多職種が在籍しているため、支援方法について多角的な視点で相談や検討をおこなうことができ、児童一人ひとりに応じた適切な支援につなげております。	療育場面だけでなく、ホール等での様子も含めて児童の変化や成長に気づいた際には、職員間で積極的に情報共有をおこない、支援に活かせるよう努めております。	今後も職員同士のコミュニケーションを大切に、些細な変化や気づきについても共有しやすい環境づくりをおこない、より良い支援につなげられるよう努めてまいります。
2	職員一人ひとりが児童と真摯に向き合い、一回一回の療育時間を大切にしながら支援をおこなっております。	療育時間だけでなく、児童の滞在時間全体を通して様子を見守り、積極的に声かけをおこなうことで、安心して過ごせる環境づくりと信頼関係の構築に努めております。	今後も児童一人ひとりとの関係づくりを大切に、得意なことや苦手なことを把握しながら、意欲を高められる関わりや声かけができるよう努めてまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数が多いため、情報共有に時間を要する場合があります。	非常勤職員も多く、勤務時間帯が午前・午後で分かれることもあるため、全職員が同時に顔を合わせる機会を確保することが難しい状況があります。	情報伝達の漏れや誤りが生じないよう、口頭での伝達に加え、職員間の連絡ノート等を活用しながら情報共有を徹底し、確実に確認できる体制づくりに努めてまいります。
2			
3			



公表日：令和8年3月14日